

平成19年度予算に対する各会派の要望

足立区議会自由民主党

足立区議会自由民主党は、区民の生活向上のために、左記のとおり要望した。(抜粋)

区内本業者への指名と支店業者の厳密な実態調査を実施されたい。
指定管理者制度とPFI事業の推進にあたり、区内業者が参加可能な募集方法と枠組みづくりを図られたい。
災害時の備蓄医薬品について、医師会・薬剤師会と十分協議の上、適切な備蓄・管理の対策を講じられたい。
耐震・改修工事においては、災害時復旧の対応が緊急にできる区と防災協定を締結している業者を選定されたい。
清掃及びリサイクル事業については、区に移管された利点を生かし、民間委託等経費節減に努力されたい。
足立ブランドの普及促進の支援を充実されたい。



区内共通商品券をより一層積極的に活用されたい。
まちの活性化のため、イベントへのなお一層の支援をされたい。
在宅難病患者・居宅生活支援事業の保健所のかかりを充実されたい。
私立保育園の障害児に対する発達支援加算の公私格差を是正されたい。

区の平成19年度予算編成に向け、各会派は各種政策を盛り込んだ予算要望書を、区長あて提出しています。その中から主な事項を掲載します。

手話通訳養成・派遣の無料実施を継続されたい。また、都の手話通訳・派遣も継続するよう働きかけをされたい。
入浴券の利用促進についてさらに努力されたい。
産休明け保育実施園における非常勤保育士配置について、公私格差を見直されたい。
健康まつり予算・薬物乱用防止活動への助成を増額されたい。
タミフルの効率的な備蓄方法を関係団体と協議の上、検討されたい。
がん検診・一般健診の受診率を上げるように努力されたい。
生活習慣病健診の文書料の補助を検討されたい。
医療機関と薬局の連携事業への半額補助を検討されたい。
休日・夜間対応薬局の助成事業へ4分の3補助を検討されたい。
教育委員会との協力、講演会の開催、広報等により予防接種率の向上に努められたい。
公立保育園と認証保育所との負担格差を是正するため、保護者への保育料助成を実施されたい。
私立保育園の運営費助成金を増額されたい。
認証保育所から認定こども園への移行を積極的に推進し、次世代育成支援の活用を積極的に努力されたい。
竹ノ塚駅の鉄道高架化をさらに積極的に推進されたい。
測地成果2000に基づく基準点の整備を促進されたい。
都・区施行の区画整理事業地への地元業者参入の支援を継続されたい。
受注後のVEの適切な制度を構築し実施されたい。
世界測地系による基準点の整備

足立区議会公明党

足立区議会公明党は、平成19年度予算における要望を、左記のとおり提出した。(抜粋)

区内に協働のプラットフォームを設置し人的配置(NPO、団塊世代等の活用)の実施を図られたい。
東京芸大と区が協働し小・中学校との連携による教育・文化力向上の推進を図られたい。
区政情報の区民周知にケーブルテレビ足立を活用されたい。
区内業者の育成と共に優先発注の推進を図られたい。
学校跡地や未利用地・施設の有効活用を推進されたい。
高齢者・障害者世帯のゴミ戸別収集を実施されたい。
可燃ゴミの週3回収集を実施されたい。

区民事務所の休日・夜間開庁の拡大を図られたい。
公共施設に洋式トイレの拡充を図られたい。
フリーター・ニート解消につながる若者や中高年層の就労率の向上推進を図られたい。
商店街に対して積極的な支援の推進を図られたい。
都市農業振興と地産地消の推進を図られたい。
健康高齢者表彰制度の導入を図られたい。
高齢者世帯の日常生活を応援する体制の構築を図られたい。
特別養護老人ホームの増床推進を図られたい。



妊産婦健診の公的助成の拡大を図られたい。
障害者自立支援法に対する施設・個人の負担軽減の推進を図られたい。
がん対策の総合的推進を図られたい。
食育の推進による区民の健康教育の普及を図られたい。
学校給食を活用し高齢者の健康教育の推進を図られたい。
高次脳機能障害者施策の充実を図られたい。
認証保育所等の保護者に対する助成金の創設を図られたい。
認可保育園に防犯カメラを設置されたい。
医療費の無料化を中学校3年生まで拡大されたい。
乳児の紙おむつを支給されたい。
産休明け保育実施園における公私格差の是正を図られたい。
虐待対策の強化を図られたい。
私立幼稚園の入園料補助金の増額を図られたい。

日本共産党足立区議団

日本共産党足立区議団は多くの方々と懇談し、区民の切実な願いをまとめ、要望書を提出した。主なものは次のとおりである。
税制改定で影響を受ける区民に対し(仮称)「痛みやわらげ手当」等の対策を講ずること。
東武伊勢崎線竹ノ塚駅付近鉄道高架化事業を促進すること。
介護保険の1号被保険者保険料を引き下げることに。
老人施設におけるホテルコスト(食事代)の負担軽減を、一般会計で早急に実施すること。
自立支援法に関して利用者負担の軽減策を拡大・充実すること。
小児初期救急夜間診療を拡充すること。

認可保育園の増設を計画的に実施すること。また、保育料は今後も据え置くこと。

「あだち若者サポートステーション」



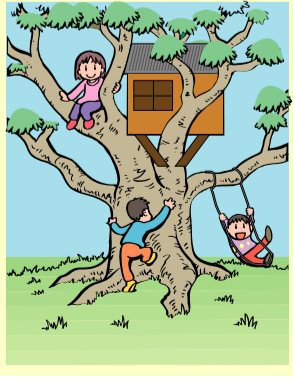
「ヨン」についての予算を増額すること。
不安定雇用の青年が健康診断を受けられる仕組みをつくること。
「東京芸術センター」駐車場等の不便の解消を図り、天空ホールの付帯設備の減額制度を創設すること。
従来通りの制度融資に戻すこと。
看板及び日よけの道路占用料は、免除対象を拡大すること。
大型小売店の出店計画に際し、関係住民・商店主等の要望を聞き、対策をまとめて毅然とした姿勢で臨むこと。
公共サービスに働く労働者の賃金・労働条件を保障すること。
足立区情報公開条例に指定管理者にかかわる条項を加えること。
公共施設や公有地の統合・廃止に関して「住民投票条例」を制定すること。
マンションの耐震診断助成を継続し、耐震補強工事への助成制度を創設すること。
日暮里・舎人ライナーで、高齢者のシルバーパスが適用されるよう都に要請すること。
シルバーパスの購入に関して、負担軽減策を拡充すること。
区独自に30人以下学級の実施に踏み出すこと。
特別支援教育の巡回指導は専門家を増員して行うこと。
学校、地域の序列化につながる学力テストの公表は行わないこと。

学力向上につながる夏休みの短縮は行わないこと。
温室効果ガスの削減目標をもち、地球温暖化対策地域協議会を設けること。
プラスチックを焼却するモデル事業を見直すこと。
住区センターを無料に戻すこと。
また、社会教育団体施設使用料の減免制度を復活すること。
憲法をくらしに生かすため、区民の平和意識を高める施策を講じること。

足立区議会民主党

足立区議会民主党は、全13項目を要望するが、主なものは次のとおりである。(抜粋)

指定管理者選定過程と管理委託費の積算書を情報公開し、指定管理者制度の公平・公正・透明な運用を図られたい。
公有地の活用と処分については、今後一層の努力と研究を。避難所及びハザードマップのデータを街中に掲示されたい。
学童保育室の待機児を短期年度で解消するよう計画的に進められたい。また、障害児の受け入れも拡大されたい。
窓口の待ち時間ゼロなどのサービス向上に努められたい。
あだち産業センターの活用について工夫されたい。
観光立区を目指されたい。
30人学級制度を導入されたい。
雨水利用・太陽光発電・屋上緑化・ビオトープなど自然エネルギーの活用が促されたい。
プラスチック焼却についてのデータ収集に努力されたい。
児童が自由に遊べる自己責任型プレイパーク公園の導入を。



鉄道高架化の早期実現に向け一層の努力をされたい。
保育園の待機児を短期年度で解消するよう計画的に進めよ。
小児救急患者に対して24時間小児科医が対応する診療体制を確保されたい。
第3次救急医療施設の誘致を。公営掲示板の設置場所については、コンビニ・銀行・スーパー等にも要請し、抜本的な見直しをされたい。